

報知新聞 便錦画第六号

東京琴平町主族佐藤重三郎の
娘おせんの子吉五郎へ貰ふ取
戻りて五ひひ苦木の主婦松
未だつとく高故を詠ひて彼の
重三郎が妻の老翁花の喜
とて心を通し居し今我々
とて心と心の配副一服の葉を
廻らうとより定てあつと命を
毒婦のユミ物く野送り出し其
夜うら若き婦の森奥へ送るを
たふとのさへふれんかつて其場を
まづ世間々々々強ゆるらるる
世邪心も然り明らなり明治五年
七月敬言視聽人引れと



郵便報知新聞 錦画6号b 文庫10-8071-5

早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library